

## 枚方の水源は淀川

枚方の水道水は淀川の水を使用しています。市内にお届けしている8割は中宮浄水場で作られ、2割は大阪広域水道企業団の村野浄水場で作られています。

安全・安心が当たり前

# 水道のひみつ



### 中宮浄水場

取水場から送られてきた水に薬品を混ぜ、濁りを大きな固まりにして取り除きます。ろ過した水を高度浄水処理し、配水場に送ります。



▲沈殿池



2 ここが中枢！  
浄水処理と全施設を徹底管理

### 高度浄水処理 だからおいしい！



◀オゾン発生管

平成10年にトリハロメタンを低減し、かび臭をほぼ100%除去することができるオゾン処理や粒状活性炭処理を導入。おいしい水道水をお届けしています。



◀高度浄水処理が終わると塩素混和池で消毒します。

### 24時間 見守っています

浄水課（浄水管理グループ）  
岩見浩司

市内の全水道施設の情報を24時間365日監視しています。もし設備に異常があれば、警報が鳴りすぐに対応することができます。「枚方の水道水はおいしいね」という声をもらうと励みになりますね。



◀コントロール室にはたくさんのモニターが並び、常に複数人でチェックします。

◀できあがった水道水を配水系統ごとに用意したポンプで配水施設に送ります。

飲み水やトイレなど生活に不可欠な水道。蛇口をひねれば当たり前のようにきれいな水が出ます。どうして私たちはいつでも安全な水を利用できるのか。そんな水道の「ひみつ」を紹介します。

問 上下水道経営室 ☎848・4199代、FAX 848・6508

# 淀川



## 守り神！？水質チェックの魚

取水場と浄水場ではコイやメダカを飼育してるって知ってたかな？取水した淀川の水や水道水に有害物質が含まれていないか魚の動きを監視して確かめているんだ。体を張って僕たちの大切な水をいつも守ってくれているんだね。▲魚類監視



枚方市上下水道局キャラクターアクリン



スタート！  
まずは大きな汚れを除去

## 磯島取水場

淀川の取水口から口径1650mmの導水管2本で1日最大13万㎡(学校のプール約370杯分)を取水しています。取水した水から、沈砂池で小石などを取り除き浄水場へ送ります。

人の背丈ほどもある！



▲導水管のサンプル



▲沈砂池



ゴール！  
いつでも安全安心



家庭や学校などにお届けしています



あって当たり前だから  
責任重大です

浄水課 (施設管理グループ)  
田中謙一郎

浄水・送水設備等の維持管理や修繕を担当しています。設備の動作不良を防止するため、定期的にメンテナンスしています。あって当たり前の水だからこそ、責任の重さを感じます。

## 配水施設

家庭などに届く直前の水道水を19カ所の受水場や配水場にためています。

▼更新工事中の鷹塚山配水場。6800㎡貯水できるようになります。

市内には網の目のように配水管が通っていて、その長さは約1200km！これは枚方市から北海道千歳市までの距離とほぼ同じです。



▲配水場の上には維持管理のため点検口などが設置されています。



▲春日受水場



準備万端！  
蛇口ひねれば  
いつでも家庭へ